

言語文化研究科(各専攻共通)

2024 年度 第Ⅱ期入学試験問題 小論文

(一般入学試験)

次の問題 1 あるいは問題 2 のいずれかの問題を選択して解答しなさい。
(選択した問題の番号を解答用紙に記載すること。)

問題 1 次の文章を読み、問 1 および問 2 に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

出典：宮原 浩二郎 著「第3章 言葉の危機と表現リテラシー」『論力の時代 言葉の魅力の社会学』、勁草書房、2005年

問1. 下線部(1)「むしろ、言葉がますます記号化しやせ細っているという漠然とした危機感が漂っている」について、筆者の考えを400字以内で簡潔に説明しなさい。

問2. 下線部(2)「言葉が記号化されるということは、言葉から価値の含みが追放されて、一つの単語に一つの意味という状態に近づいていくことである」について、あなたの意見を600字以内で述べなさい。

問題2 次の文章を読み、問1および問2に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

出典：岩渕功一 著「第3章 ソフト・ナショナリズム」『トランスナショナル・ジャパン』、岩波書店、2001年

※出題の都合上、一部省略しています。

問1. 下線部(1)「文化的無臭」をあなたのことばで400字以内で解説しなさい。

問2. 下線部(2)「ソフト・ナショナリズム言説」とある。これについて筆者の見解を簡潔に述べたうえで、あなたの意見を600字以内で述べなさい。